|  |
| --- |
| **新任期等保健師研修（３年目）**  |
| **所属：（　　 　　　　）　氏名：（　　　　 　　　　　）**  |
| **様式１（3年目） ：保健事業あるいは地域のシステム構築の計画のための現状分析**  |
| 領域（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | 目的（対象者のあるべき姿） |
| 担当地域の概要 |
|
| 1.地域の現状 | 2.アセスメント | 人々の健康課題 | 行政課題 |
| ・地域の特性や背景・保健師活動計画を作成する領域における対象者の状況、ニーズ・保健師活動計画を作成する領域に関する統計データ・前年度までの取り組みと達成状況・関連する地域資源の有無と実態　　　　　　　　　等 | 左記の現状について分析・解釈を記載する。 | 左記のアセスメントから、地域住民に生じている健康や生活の問題／課題について、住民を主語に記載する。 | 左記の人々の健康課題について、どう働きかけるかを記載する。 |

|  |
| --- |
| **新任期等保健師研修（３年目）**  |
| **所属：（　　 　　　　　　　　　 　　　　）　氏名：（　　　　 　　　　　）**  |
| **様式２（3年目) ：保健事業あるいは地域のシステム構築の計画と評価** |
| 保健事業名あるいは地域のシステム構築のテーマ： |
| 施策（の方向） | 施策の目標 | 事業番号 | 事業名（施策の目標番号） | 　 |
| 様式５（別紙）より転記する | 様式５（別紙）より転記する | 　 | 　 |
| 事業の目標 | 実施計画 | 目標番号 | アウトカム評価に関する項目 | 評価計画 | 評価結果目標の達成度（アウトカム） | 総合評価 |
| 評価指標 | 目標値 | 評価方法 | 評価時期 |
| 　 | 　 |  | 事業の成果が達成されたか、事業の目標の到達したかという項目を記載する（評価指標：検査値の改善率、対象者の該当割合、病気の発症率、育児不安を抱える母親の割合等） | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | ※施策の目標の達成度や複数の事業の各評価を総合的にとらえ、次のPDCAにつながるように記載する。 |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  | アウトプットに関する項目ト関する評価項目 |  | アウトプットに関する項目トに関する評価 |
| 評価指標 | 目標値 | 評価方法 | 評価時期 |
|  | 事業の成果を上げるために立案した実施量に到達しているかという項目について記載する（評価指標：事業実施回数、参加人数、実施率等） | 　 |  | 　 | 　 |  |
|  | プロセスに関する項目に関する評価項目 | 評価計画 | プロセスに関する項目に関する評価 |
| 評価指標 | 目標値 | 評価方法 | 評価時期 |
|  | 事業の目標を達成するための実施過程が適切であるかという項目を記載する（評価指標：情報収集、アセスメント、健康課題の分析、目標の設定、指導手段、保健指導実施者の態度、記録状況、対象者の満足度等） |  |  |  |  |  |
|  | 企画・実施体制に関する項目施体制に関する評価項目 | 評価計画 | 企画・実施体制に関する項目施体制（ストラクチャー）に関する評価 |
| 評価指標 | 目標値 | 評価方法 | 評価時期 |
|  | 保健事業を実施するための仕組みや体制が整っているかという項目を記載する（評価指標：職員の体制、予算、施設・設備の状況、他機関との連携体制、社会資源の活用等） | 　 |  |  |  |  |
| 平成29年度　国立保健医療科学院　公衆衛生看護研修（中堅期）資料を基に改変 |

【様式２（別紙）3年目】　保健活動・事業の含まれる政策・施策全体

施策の目標　１

　　　　　　２

　　　　　　３

　　　　　　４

　　　　　　５

政策目標（基本理念）

基本目標の目的

施策（の方向）１．

２．

 ３．

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事業名 | 施策の目標との関連 | 事業の対象、実施主体 |
|  |  |  |

〔国立保健医療科学院公衆衛生看護学部作成を一部改変〕